

304	2008/07/28	80304	ヤンセン ファーマ	ムロモナブーCD3	ウシ胎仔血 清	ウシ血液	アメリカ合衆 国またはカ ナダ	製造工程	無	無	無			
305	2008/07/28	80305	ヤンセン ファーマ	ムロモナブーCD3	ウマ血清	ウマ血液		製造工程	無	無	無			
306	2008/07/29	80306	アボット・ ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	アダリムマブ (遺伝子組 換え)		アメリカ、ブ エルトリコ	有効成分	無	無	無			
307	2008/07/29	80307	アボット・ ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズ ハムスター 卵巣細胞	培養細胞株	アメリカ	製造工程	無	無	無			
308	2008/07/29	80308	アボット・ ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	Primatone RL(ウシ脾 臓及び血液 の酵素消化 物)	ウシ脾臓及び 血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
309	2008/07/29	80309	アボット・ ジャパン	バリビズマブ(遺伝子組換え)	バリビズマブ (遺伝子組 換え)		ドイツ	有効成分	無	無	無			
310	2008/07/29	80310	アボット・ ジャパン	バリビズマブ(遺伝子組換え)	マウスミエ ローマ細胞	マウス培養細 胞株	米国	製造工程	無	無	無			
311	2008/07/29	80311	アボット・ ジャパン	バリビズマブ(遺伝子組換え)	トランスフェ リン	ウシ血液	ニュージー ランド	製造工程	無	無	無			
312	2008/07/29	80312	アボット・ ジャパン	バリビズマブ(遺伝子組換え)	リボプロティ ン	ウシ血液	オーストラリ ア、ニュー ジーランド	製造工程	無	無	無			

313	2008/07/29	80313	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
314	2008/07/29	80314	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	濃縮リビッド	羊毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
315	2008/07/29	80315	日本メジフィジックス	放射性医薬品基準ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム(99mTc)注射液	ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム(99mTc)	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			
316	2008/07/29	80316	日本赤十字社		合成血	人血液	日本	有効成分	有	無	無	細菌感染	Vox Sanguinis 2008; 94: 193-201	ルックバック調査でPropionibacterium acnes汚染が推定される血小板濃縮製剤(PC)の保存から輸血までを追跡したところ、輸血後の有害事象は見られなかった。In vitro試験でプロピオン酸菌属の臨床分離菌をPCに接種し、好氣的に22℃で10日間保存という条件下での生育を調べたところ、細菌の生育は緩慢か生育を認めなかった。プロピオン酸菌属はPC保存条件下では増殖しないため、検出されないか、輸血後に検出されると考えられた。
												感染	Transfusion 2008; 48: 304-313	血小板濃厚液におけるUVC照射の病原体不活化能を検討した。UVC照射は、血小板の品質に影響を及ぼさず、細菌(表皮ブドウ球菌、黄色ブドウ球菌および大腸菌)ならびに伝播性胃腸炎ウイルスなど広範なウイルス(HIVおよびシミアンウイルス40を除く)を不活化することができた。しかし、HIVのような血液感染性ウイルスに対応するには、UVC法をさらに最適化することが必要である。

ID	カテゴリー	サブカテゴリー	地域	年	人数	性別	年齢	職業	疾患	参考文献	内容
									アメリカ・アメリカ・トリパノソーマ症	Clin Infect Dis 2008; 46: e44-47	血液製剤の輸血によりシャーガス病に感染し、死亡したスペイン人患者の寄生虫学的、血清学的疾患経過、ならびに供血者の調査の報告である。患者は白血病の既往があり、176名以上の供血者由来の輸血を受けていた。臍帯血移植のための免疫抑制状態で、寄生虫が血液脳関門を通過して神経系に感染したことが確認された。特定された供血者は無症候であった。複数回輸血患者は、免疫抑制剤治療実施前に、抗Trypanosoma cruzi抗体のスクリーニングを受けるべきである。
									ウイルス感染	ProMED-mail20080218.0645	2008年1月21日、Braziliaで32歳の男性が黄熱のため死亡した。これは、ブラジルにおける15人目の黄熱死亡患者である。Mato Grossoでも1名の感染と死亡が確認された。パラグアイ保健当局は首都Asuncionの病院で集中治療を受けていた39歳の女性が2008年2月16日に死亡したと発表した。同国ではこれまでに、少なくとも6名が黄熱によって死亡した。多くの市民がワクチン投与を求めて病院に殺到している。
									パルボウイルス	Transfusion 2008; 48: 1036-1037	大阪における1997-1999年の献血者979052名中102名がヒトパルボウイルスB19感染者であった。B19感染者のうち20名のB19 DNA、IgGおよびIgMを長期間フォローアップしたところ、B19持続感染が観察されたが、B19感染の症状を報告した者はいなかった。B19急性感染後の血漿ウイルス力価は約1年で 10^4 IU/mL未満、約2年で 10^1 IU/mL未満まで下がること示された。
									リンパ性脈絡髄膜炎	N Engl J Med 2008; 358: 991-998	オーストラリアで一人のドナーから臓器移植を受けた3例が移植後4-6週後に死亡した。他のいかなる方法でも原因不明であったが、2例のレシピエントの移植肝および腎から得られたRNAを隔りのない迅速シーケンシングで解析することにより、リンパ性脈絡髄膜炎に関係する新規のアレナウイルスが原因であることが明らかとなった。レシピエントの腎、肝、血液および脳脊髄液からこのウイルスが検出され、また免疫組織学的および血清学的に確認された。この方法は病原体発見の強力な手段である。
									ハンタウイルス	Emerg Infect Dis 2008; 14: 808-810	スウェーデンにおけるPuumalaウイルスの予期せぬ大規模アウトブレイクにより、2007年のVasterbotten地方の流行性腎症患者の数は100,000人当り313人に至った。齧歯類の増加の他、気候温暖化および地表を覆う積雪の減少により、ウイルスを媒介するハタネズミの活動が活発だったことが、当該アウトブレイクの一因であろうと考えられる。

										感染	Vox Sanguinis 2008; 94: 315-323	アモトサレンと紫外線A波で光化学処理した血小板(PCT-PLT)の輸血に関連する有害事象を調べるために能動的血液安全監視プログラムを実施した。患者1400名に7437件のPCT-PLTが輸血され、その内、68件が有害事象と関連付けられた。PCT-PLT輸血に関連した急性輸血反応は発現頻度が低く、ほとんどが軽度であった。
										異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Microbiol Immunol 2007; 51: 1221-1231	感染動物モデルにおいても、血中のPrPresは白血球を除きめつたに検出されない。新規の酸性SDS沈殿法と高感度化学発光法とを組み合わせることにより、プロテイナーゼK耐性3F4反応性タンパクが、スクレイピー感染ハムスターの血漿中からは検出されるが、疑似感染ハムスターでは検出されないことが示された。血漿中においてPrPresは他の血漿タンパクと糖鎖を通じて凝集しており、スクレイピー感染ハムスター血漿において検出可能となったことが示唆された。
										異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J Virol 2008; 82: 3697-3701	非典型的BSE株の1つであるBASE(またはBSE-L)の感染性およびヒトでの表現型を調べた。BASEウシ由来の脳ホモジネートを、ヒトプリオン蛋白を発現するトランスジェニック(Tg)マウスに接種したところ、60%が20-22ヶ月後に感染し、古典的BSEに関する報告より高い感染率であった。BASE感染ヒト化Tgマウス脳における病因性プリオンのアイソフォームは、元のウシBASEまたは孤発性ヒトプリオン病のものとは異なっていた。またBASEプリオンはリンパ向性であった。
										BSE	OIE/World animal health situation 2008年3月31日	1989年から2008年3月までに、英国以外の世界各国から国際獣疫事務局(OIE)に報告された畜牛におけるBSE症例数である。2006年は、スペイン68頭、アイルランド41頭、ポルトガル33頭、ドイツ16頭、日本およびポーランド10頭、フランス8頭、イタリア7頭、スイスおよびカナダ5頭、チェコ3頭、オーストリア、ベルギーおよびオランダ2頭、スロベニア、スウェーデンおよび米国1頭である。2008年には、これまでにカナダ1頭、アイルランド6頭が報告されている。
										BSE	OIE/World animal health situation 2008年4月17日	2008年3月までに、英国から国際獣疫事務局(OIE)に報告されたBSE数である。1987年以前は英国全体で446頭であったが、1992年には37280頭となった。その後、減少し、2007年には67頭となった。2008年は3月31までに10頭報告されている。

											HIV	AIDS 2007; 21: 2351-2353	フランスの新規HIV診断例におけるHIV-2およびHIV-1グループO型の感染率を調べた。2003年1月から2006年6月に10184例のHIV新規診断症例が報告されたが、HIV-2およびHIV-1グループO型感染の割合は、各々、1.8%および0.1%であった。これらの症例のほとんどは、異性との接触により感染した流行地域出身の患者であった。HIV-2感染のうち3例は男性と性的関係を持つ非アフリカ系男性であった。
											インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1865-1870	カナダの共同農場で生活していた7ヶ月齢の乳児から、A/Canada/1158/2006と名づけられたプタインフルエンザAウイルス(H3N2)が単離された。この農場のメンバー90名のうち54名で同ウイルスに対する血清学的検査を行ったところ、54名中9名が陽性であった。また、プタ10頭のうち1頭で血清陽性が明らかになった。プタインフルエンザウイルス株は効率的にヒトからヒトへ伝染する形に適応または交雑することから、インフルエンザ流行への備えの一環として養豚者の定期的サーベイランスを検討すべきである。
											インフルエンザ	AABB Weekly Report 2008年2月29日	インフルエンザパンデミックと血液供給に関するAABBの作業部会は、パンデミック時に供血間隔の例外的な取り扱いを認めるよう2月14日にFDAに対し要望書を送付した。パンデミック時には適格な供血者数が制限されることが予想されるため、全血および赤血球採取の間隔を短くすることが最も有効であるとしている。
											ウイルス感染	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000047	出血熱症例の小さな流行が、2003年12月と2004年1月にボリビアのCochabamba付近で発生した。1死亡例から検体を入手し、患者血清検体から非細胞障害性ウイルスを単離し、アレナウイルスと同定した。RT-PCR分析、並びにS及びL RNAセグメント配列の解析の結果、このウイルスはサビアウイルスに最も近縁であるが、新規のウイルスであることが示された。我々はこのウイルスをChapareウイルスと命名することを提案する。
											B型肝炎	第37回 日本肝臓学会西部会 2007年12月7-8日、肝臓 2007; 48(Suppl 3): A522	輸血によりHBs抗体エスケープ変異株に感染し、肝炎を発症した40歳代女性の症例報告である。献血者、受血者の塩基配列の解析を行って感染が証明された。核酸増幅検査を含む献血者のスクリーニングを行っているにもかかわらず、本邦では年間10-20例のHBV感染が報告されている。その原因の一つがHBs抗体エスケープ変異株であるが、本症例のように献血者、受血者ともに塩基配列の解析を行い感染が証明された例はきわめて稀である。

承認番号	申請日	承認日	商品名	成分	剤形	適応症	特長	効用	副作用	禁忌	注意	参考
												<p>B型肝炎</p> <p>Transfusion 2008; 48: 286-294</p> <p>最小感染量を求めるために、遺伝子型Aまたは遺伝子型CのHBVを含む急性期前の接種株をチンパンジーに接種したところ、最小50%チンパンジー感染量(CID50)は各々約10コピーと推定された。最低感染量を接種したチンパンジーにおけるHBV DNA ウィンドウ期は遺伝子型Aでは55-76日、遺伝子型Cでは35-50日、HBs Agウィンドウ期は遺伝子型Aでは69-97日、遺伝子型Cでは50-64日であった。またHBV DNAダブリングタイムは遺伝子型Cの方が遺伝子型Aに比べ有意に短かった。</p>
												<p>B型肝炎C型肝炎</p> <p>第56回日本輸血・細胞治療学会総会 2008年4月25-27日 P-033</p> <p>2007年に医療機関から日本赤十字社に報告された輸血関連感染症の報告数は124例(10月未現在)であり、一昨年及び昨年の同期間に比べ減少傾向にある。内訳はHBVが61例、HCV32例、細菌24例、その他のウイルスが7例であった。ウイルス感染(疑)症例の調査結果により病原体を確認した症例は、HBVの12例とHCVの1例であった。HCVの1例は20プールNAT開始後(2004年8月開始)初めての検出限界以下の献血血液による感染症例であった。</p>
												<p>E型肝炎</p> <p>N Engl J Med 2008; 358: 811-817</p> <p>2004年1月1日～2006年12月31日に腎移植(241名)または肝移植(86名)を受けた患者の移植時の抗HEV IgG保有率は、各々14.5%または10.4%であった。この内、肝移植を受けた3名、腎移植を受けた9名、腎臓と脾臓の移植を受けた2名の計14名で急性HEV感染を同定したが、全員血清HEV RNA陽性であり、内8名が慢性肝炎となった。移植から診断までの時間は短く、慢性肝炎に進展した患者ではリンパ球数並びにCD2、CD3およびCD4 T細胞数が有意に低かった。</p>
												<p>E型肝炎</p> <p>第56回日本輸血・細胞治療学会総会 2008年4月25-27日 O-026</p> <p>北海道地区において現行プールNATスクリーニングの残量を用いてTaqMan RT-PCR法によるHEV NATスクリーニングを行った。陽性献血者85例について追跡調査および遡及調査などを行なった。陽性献血者の多くは動物内臓肉を食してHEVに感染したと考えられる新規感染者で、GenotypeはG3が多かった。多くは症状が現れないまま抗体が陽転化し、典型的な無症候性一過性感染の経過をたどった。</p>
317	2008/07/30	80317	フェリングファーマ	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	閉経後婦人尿	アルゼンチン	有効成分	無	無	無	

318	2008/07/30	80318	バイエル薬品	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無						
319	2008/07/30	80319	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ウシ乳由来カゼイン(センダイウイルスのポリペプトン)	ウシ乳	中国、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無						
320	2008/07/30	80320	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ヒトリンパ芽球細胞株	日本	有効成分	無	無	無						
321	2008/07/30	80321	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無						
322	2008/07/30	80322	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ブタ由来酵素(センダイウイルスのポリペプトン)	ブタ臓臓	日本	製造工程	無	無	無						
323	2008/07/30	80323	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無						
324	2008/07/30	80324	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ふ化鶏卵(センダイウイルスを増殖)	鶏卵	日本	製造工程	無	無	無						
325	2008/07/30	80325	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	抗IFN- α モノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無						

326	2008/07/30	80326	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ハムスター (ヒトリンパ 芽球細胞を 皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	無			
327	2008/07/31	80327	シエリン グ・ブラウ	①下垂体性性腺刺激ホルモン ②胎盤性性腺刺激ホルモン	①下垂体性 性腺刺激ホ ルモン ②胎盤性性 腺刺激ホル モン	①更年期婦 人尿 ②妊婦尿	①オランダ ②ブラジル	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	CDC/Travelers Health 2008年6月 13日	2008年1月8日、ブラジル保健局はブラジル在住の旅行者 および外交官に黄熱病警報を発した。2008年6月11日現 在、死亡25名を含む、45名の黄熱病確定症例が報告され た。黄熱病危険地域への旅行者は10日前にワクチン接 種を受けるよう警告している。また、更に2つの州が危険 地域に指定された。
												ウイルス感染	ProMED- mail20080418.1387	ポリビア保健当局、CDCなどのチームにより、ポリビア農 村部で感染により死亡した患者1例の血清検体から、未 知のアレナウイルスが同定され、Chapareウイルスと名づ けられた。この研究は4月18日付けPLoS Pathogensに発 表された。ChapareウイルスはJunin、Machupoおよび Guanaritoウイルスと同様の出血症状を起こすが、遺伝学 的には異なる。
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000047	出血熱症例の小さな流行が、2003年12月と2004年1月に ポリビアのCochabamba付近で発生した。1死亡例から検 体入手し、患者血清検体から非細胞障害性ウイルスを 単離し、アレナウイルスと同定した。RT-PCR分析、並び にS及びL RNAセグメント配列の解析の結果、このウイル スはサビアウイルスに最も近縁であるが、新規のウイル スであることが示された。我々はこのウイルスをChapare ウイルスと命名することを提案する。
												デング熱	CDC/Travelers' Health 2008年7月 24日	ブラジルでは2007年に続き、2008年もデング熱の大きな アウトブレイクが報告されている。保健当局によると、 2008年3月28日現在、デング熱総症例数は120570例で、 その内、デング出血熱647例、死亡48例である。リオデ ジャネイロでは2008年4月10日現在、デング熱総症例数 は75399例で、その内、死亡80例である。ブラジルへの旅 行者は蚊に刺されないよう十分注意すべきである。
												デング熱	ProMED- mail20080603.1776	2008年5月28日、ブラジルRio de Janeiroでは、今年になっ てから162701例のデング熱症例が報告され、その内、死 亡例は123例で、更に116例のデング熱疑い死亡例を調 査中であると保健局が発表した。また、保健局発表によ ると、2008年5月21日現在、ブラジルSergipeでは20174例 が報告され、8726例が確定された。2008年4月は10万人 当たり652.4例の発生率であったが、5月には10万人当た り118.2例に減少した。

328	2008/07/31	80328	あすか製薬	日局ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国・ブラジル	有効成分	無	無	無			
329	2008/07/31	80329	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用-1)	ウシ血液	米国	製造工程	無	有	無			
330	2008/07/31	80330	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国	製造工程	無	有	無			
331	2008/07/31	80331	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞株	該当なし	有効成分	無	有	無			
332	2008/07/31	80332	バクスター	加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	無	有	無			
333	2008/07/31	80333	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	インスリン(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用)	ウシ膵臓	米国	製造工程	無	有	無			
334	2008/07/31	80334	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	無	有	無			
335	2008/07/31	80335	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	アプロチニン	ウシ肺	ニュージーランド	製造工程	無	有	無			

336	2008/07/31	80336	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用)	ウシ血液	オーストラリア	製造工程	無	有	無			
337	2008/07/31	80337	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用-2)	ウシ肝臓	米国又はカナダ	製造工程	無	有	無			
338	2008/08/07	80338	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	溶連菌抽出物注射用	—	有効成分	無	無	無			
339	2008/08/07	80339	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	牛肉	ウシ骨格筋	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
340	2008/08/07	80340	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
341	2008/08/07	80341	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			

342	2008/08/07	80342	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	Bacto Todd Hewitt Broth	ウシ心臓、骨格筋、骨髄、脂肪組織、結合組織、乳、ブタ心臓、脾臓、胃	ウシ：心臓(米国)、骨格筋(米国、オーストラリア)、脂肪組織(米国)、骨髄(米国)、結合組織(米国)、乳(オーストラリア、ニュージーランド)、ブタ：心臓、脾臓、胃(米国、イタリア、カナダ)	製造工程	無	無	無			
343	2008/08/07	80343	中外製薬	エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	ブタ脾臓	米国、カナダ、デンマーク、英国、ドイツ、オランダ、ポルトガル、ベルギー、フランス、アイルランド、スペイン、ハンガリー、韓国	製造工程	無	無	無			
344	2008/08/07	80344	中外製薬	エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	ウシ血液アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
345	2008/08/08	80345	興和	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	無	無	無			

346	2008/08/08	80346	デンカ生研	発疹チフスワクチン	卵黄囊	ニワトリの受精卵	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	Proc Natl Acad Sci USA Published online 2008年5月27日	ユーラシアおよび北米系統のH7型トリインフルエンザウイルスの受容体結合能およびフェレットモデルにおける感染性を調べた。その結果、2004年にカナダで分離されたH7N3型、2002-2003年に米国北東部で分離されたH7N2型は α 2-6結合シアル酸に対する親和性を高めたHAを保有していた。また2003年にニューヨークの男性から分離された低病原性H7N2型はフェレットの上気道で効率的に増殖し、直接接触で感染できることが確認された。
347	2008/08/12	80347	ジェンザイム・ジャパン	イデュルスルファーゼ(遺伝子組換え)	イデュルスルファーゼ(遺伝子組換え)	ヒト培養細胞	宿主細胞は、American Type Culture Collection (ATCC) から入手した、ヒト繊維肉腫由来細胞 HT-1080である。	有効成分	無	無	無			
348	2008/08/12	80348	ジェンザイム・ジャパン	イデュルスルファーゼ(遺伝子組換え)	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
349	2008/08/12	80349	ジェンザイム・ジャパン	イデュルスルファーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	米国	製造工程	無	無	無			
350	2008/08/12	80350	ジェンザイム・ジャパン	イデュルスルファーゼ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ脾臓	デンマーク、米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
351	2008/08/12	80351	ジェンザイム・ジャパン	イデュルスルファーゼ(遺伝子組換え)	アフィニティカラム樹脂(大腸菌による遺伝子組換えたん白質)	ウシ組織(脂肪細胞、骨髄、結合組織、心臓及び骨格筋)	米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
352	2008/08/12	80352	大日本住友製薬	アガルシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	ヒト線維肉腫由来細胞株 (HT-1080由来)	ヒト細胞株	米国	製造工程	無	無	無			